



学校便り

高甫っ子

令和2年1月29日

NO 19

須坂市立高甫小学校

文責 黒岩

【学校教育目標】 明日の日本をになう子ども たくましく かしく ほがらかな 高甫っ子

いのちの時間

校長講話

1月9日から24日まで「命を見つめる旬間」でしたので、今日は、「生きる」ということについてみんなで考えたいと思います。

私は、毎朝、学校に来ると、まず玄関に置いてあるヤマメの水槽を眺めています。なぜかという、もしかしたらヤマメが死んでいるかもしれないと心配だからです。11月にはまだ卵だったヤマメが、年末までにはすべてかえって水槽の底に泳がずに固まっていました。最近では少しずつ泳ぐようになって、ようやく餌を食べるようになりました。水槽1つでは狭いので、2つにしました。これからはどんどん大きくなると思います。



さて、ここで問題です。ヤマメの寿命はいったいどのくらいだと思いますか？10年、20年、それとももっと長いかな…。調べたところによると、ヤマメの寿命はおよそ2～3年だそうです。水槽の中で一生懸命泳いでいるヤマメも2年後、3年後にはそのほとんどが死んでしまうのだそうです。まさかそんなに短いとは知りませんでした。この世の中には命あるものがたくさんありますね。花や鳥、魚、木、動物、そして虫。そのすべてが生きている時間は同じではないね。長いものもあれば短いものもある。でも決まっていることがあります。それは、どの生き物にも命が一つだけ、それぞれに一度だけであるということです。

次に、「いのちの時間」という本を紹介します。

いのちには、はじまりとおわりがあって その間を“生きている”という。いま、こうしている間も たくさんのいのちが どこかで生まれ どこかでおわりをむかえている。どんな小さな虫にとっても 全ての生きものには いつかはおわりがやってくる。どれだけ長く生きるのか それはだれにもわからない。生きているあいだには、病気やけがをすることもあり 死のおとずれが早まることもある。死はとても悲しいこと でも、それは生まれる前から 全てのいのちに約束されたこと。ここにあるいのちは それぞれにひとつ それぞれに一度だけ。うさぎやネズミは数週間で成長し、その一生はわずか一、二年。蝶の一生は一週間。鳥のいのちもまた短い。人はいったいどうだろう。人は人として いのちの時間をもっている。その一生は六十年か七十年 あるいはそれ以上。もちろん病気になることも、けがをすることもある。なおることもあるけれど、なおらずに死ぬこともある。それは悲しいことにはちがいない。けれど、これも、与えられた人の一生、いのちの時間。長くても短くても いのちの時間にかわりはない。 はじまりがあっておわりがあり、その間には “生きている時間” がみちている。いのちとはこういうもの。花、人、鳥、魚、動物、どんな小さな虫にとっても。いまも 地球の上のあちらでもこちらでも 休みなく いのちの時間がめぐっている。



皆さんは近くで「死」を感じたことがありますか？優しくしてくれた人が死んでしまったとか、かわいがっていた犬や猫が病気になって死んでしまったとか…。2年生の皆さんは、去年の夏休み明けに大事に飼っていたうさぎさんが死んでしまったの覚えているかな？

元気な皆さんにとって命はずっと続くものと思うかもしれないけど、「いのちの時間」は生まれる前から約束されていることなんですね。何十年と続くかと思えば、一瞬にして終わってしまうこともある。わかっているのは、「命はそれぞれに一つ、それぞれに一度だけである」ということです。そして生きている時間というのは長さではなく、どう生きるかが尊いんだということ。この地球は「いのち時間」が満ちています。

一度しかない「いのち時間」をどう過ごすか、そんな問題にぜひ皆さんは答えを出してください。答えは同じではありませんよ。みんな違いますよ。

もし、皆さんが病気やケガをしたときに誰よりもお父さんやお母さんは心配します。それは、皆さんがお父さんとお母さんのかげがえのない宝物だからです。皆さんが元気に育っていくことが、お父さんやお母さん、家族のみんなにとって何よりも大事なことであるということを忘れずに、精一杯生きていきましょう。

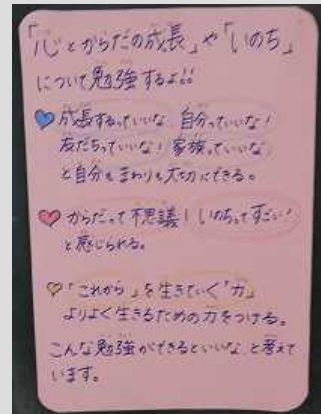
命を見つめる旬間

1月9日～24日まで、命を見つめる旬間です。今年度の「命を見つめる旬間」を紹介します。

命を見つめる旬間のねらいは、児童一人ひとりが人権や命の尊さを感じ、自尊感情を高め、認め合い・支え合う学級・学校にしていこうという気持ちをもつ。毎日を健康に過ごしている自分、一緒に生活している友だち、さらには自分たちの生命への感謝をすることを通して、自分や友だち、みんなの生命を大切にしようという心情を育てるです。今年のテーマは「僕(私)はぼく(わたし)だから」です。養護教諭による保健指導、かたくりの会の皆さんによる読み聞かせ、学級担任による性に関する教育の授業を計画しています。

最近、SNS や LINE の普及により、性や命を軽んずる風潮が広まっています。誤った情報から子どもたちを守り、正しい知識と豊かな心の育成を目指していきたいと考え、授業参観日に合わせて、SNS講演会も実施しました。

◆保健の市川先生より



2年敬組は、インフルエンザによる学級閉鎖のため、授業参観を行いませんでした。後日、実施予定です。

◆学担による性に関する教育の授業

【1年生】 「ぼく、わたしのたいせつなからだ」

自分にとって恥ずかしい部分にシールを貼りながら、プライベートゾーンについて学びました。水着で隠れる部分は、その人にとって大事なところだから、さわってはいけません。むやみに抱きついてはいけません等、家族とお友だちの関係によるスキンシップの違いについて考えました。

子どもたちにとってちょっぴり恥ずかしいことでもあり、終始笑い声起きて、理解させることは難しいなあと感じました。少しずつ意識の上で、男女差が出てきました。



【3年生】 「ぼく、わたしのたん生」 (妊婦体験)

妊婦体験を通じて、自分がお母さんのお腹の中にいるときのお母さんの気持ちについて考えました。

実際に、妊婦体験をした児童は、「重くて背中が痛い」という感想を發表しました。子どもたちはまだ体が小さいので、3kgほどの人形を抱くことは、かなり大変です。こんな大変な思いをして、私たちが生んでくれたことに、改めてすごいなあと思った瞬間です。



【4年生】 「成長するからだ」

小学校に入学した頃と比べて、体の変化しているところはどんなことかをまず考えました。教科書には裸のイラストが描かれていて、ちょっぴり恥ずかしい気持ちがするけれど、みんな真剣に考えました。

思春期を迎え、少しずつ異性を意識する年頃だけに、男女の体の違いを学習することは大切なことですね。保健の教科書を使って、科学的知識をしっかりと学びました。これからは、体の変化とともに心も変化します。難しい年頃です。



◆情報モラル講演会

グーライトの寺島竜一さんにネットの利便性と落とし穴について、わかりやすくお話をいただきました。日頃の子どもの生活そのものような話の内容で、スマホやゲーム依存、ネットトラブルといったことが、私たちにとって身近になってきたような気がします。

ネットにかかわるトラブルは、家で起こります。保護者の方にも大勢聞いていただきました。今後は地域をあげて考えることが必要だと思えます。



最近、校長室で金魚を飼い始めました！



【5年生】 「異性への関心」

異性とのかかわり方の変化について考えました。グループごとに7つの項目を早いものから順番に並べました。そして、今の自分たちはどの段階なのか話し合いました。

最後にこれから異性とどう関わっていけばいいのか考えました。みんなと協力する。人任せにしない。相手のことを思いやるといった意見が出されました。これから児童会をリードする立場の子どもたちにとって、大切なことを学びました。



【6年生】 「あなたはカウンセラー（心の成長）」

カウンセラーになって、人の悩みをどう解決するか考えました。ポイントは、まじめな気持ちで、安心するような言葉で、嬉しくなる言葉で、自分だったらどうするか、自分が言われてホットするアドバイスです。

中には、今の自分の悩みと同じ悩みに答えることになって、答えが見つけれずに悩んでいる子も見られました。カウンセラーの立場で考えるということは相手意識を持つということで、発表されたアドバイスを聞いた友からは、温かい拍手が送られていました。



◆かたくりの会の読み聞かせ

1月15日にかたくりの会の皆さんによる読み聞かせの会がありました。今回の読み聞かせは「命」に関わる内容のものが中心です。命にかかわるお話は説得力があります。かたくりの会の皆さんの気持ちを込めた語りか、子どもの心に伝わります。子どもたちも真剣に聞き入っていました。

- 1年生は、「あなたはちっともわるくない」
- 2年生は、「お母さんがお母さんになった日」
「おじいちゃんのごらくごらく」
- 3年生は、「おさる日記」
- 4年生は、「たったさんびきだけのいけ」「あかり」
- 5年生は、「いぬとぼく おなじひにうまれた」
- 6年生は、「はなちゃんのみそ汁」



防災エコナイト？

朝、ラジオからユニークな取り組みが聞こえてきました。その名も「防災エコナイト」というものです。夜、急に停電になったら、あるいは、断水が起これたらどうしましょうか？と言うことで、子どもがお風呂に入っているときに、室内の電気を一斉に消して、暗闇の中でしばらく過ごすというものでした。なるほど、万が一のことを考えたら、いい体験になるなと思いました。しばらくろうそくの明かりだけで過ごすのもいいかもしれませんね。

AEDを職員室前廊下に設置しました。万が一に備えて使いやすくなりました。





冬場の体力づくり

2時間目の休み時間になると、子どもたちは元気いっぱい校庭で体を動かします。多くの子どもたちは、サッカーで汗を流しますが、そんな中、1年生は「鬼ごっこ」、2年生は「大縄跳び」、3年生は「鉄棒」で体を動かしています。



インフルエンザ注意報発令中です！



須坂市内の小中学校は、青少年赤十字加盟校として、日本赤十字社より感謝状をいただきました。



1月16日(木)に来入児一日入学が行われました。来入児の皆さんは、1・5年生との交流を行いました。1年生は、学校紹介。5年生は、一緒に自分の顔のお絵描きを行いました。来入児は21名です。

別室において保護者会も開催され、小学校の説明や事務手続き、必要品の斡旋販売を行いました。



- 4 (火) 児童会選挙
- 5 (水) かたくりの会
- 6 (木) 体育集会 中学校一日入学
PTA理事会
- 10(月) お地藏さん供花 2年
学年費引き落とし日
- 11(火) 建国記念の日
- 12(水) 高南ふれあい代表者会
- 13(木) 体育集会 児童会
- 14(金) 算数検定
- 15(土) 音楽同好会コンサート (メセナ)
- 18(火) 校長講話
授業参観日(1・2・3年)
- 19(水) 郡P評議員会
- 20(木) 音楽集会 児童総会
学年費引き落とし日
- 24(月) 振り替え休日
- 25(火) 授業参観日(4・5・6年)
PTA会計監査
- 26(水) かたくりの会
- 27(木) 音楽集会 児童会
- 28(金) PTA評議員会 新旧引き継ぎ会
給食費引き落とし日



電子黒板の活用



各教室に電子黒板が設置されています。画像や映像を使って問題把握に役立っています。また、ノートを写しながら自分の考えを発表する学習も行っています。これからは情報発信力が大事になります。

1月18日にホクト文化ホールで開催されたボーカルアンサンブルフェスティバルに、本校のボーカルアンサンブルクラブが参加しました。高南タッキーは四部合唱「一番はじめは」、高南ナッキーは三部合唱「あらのはてに」を発表しました。どちらの発表も好評価をいただき、高南タッキーは銀賞、高南ナッキーは銅賞をそれぞれいただきました。

ボーカルアンサンブルクラブは、このあと2月15日(土)にメセナホールで開催される上高井教育会音楽同好会コンサートに参加する予定です。その後、3月7日(土)に高南地域公民館でのコンサートが最後となります。ぜひ子どもたちのきれいな歌声をお聞かせください。

